

第1回芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会議事要旨

会議名	第1回町田市芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会	
開催日時	2015年1月16日(金)午後1時30分~午後3時50分	
開催場所	町田市役所 2-3、2-4 会議室	
出席者	委員	真野洋介、海老塚耕一、天野真、伊藤弘一郎、高橋倫正、 稲木健志、岩崎俊男、野澤滋享(8名、敬称略)
	事務局	都市づくり部長、企画政策課、公園緑地課、未来づくり研究 所、文化振興課、市立博物館、国際版画美術館、児童青少年 課、地区街づくり課、生涯学習総務課 株式会社 環境・グリーンエンジニア
公開・非公開	公開	
傍聴人数	2名	
議題	議題1 検討スケジュールについて 議題2 再整備基本計画について	
次第	1. 開会挨拶 2. 懇談会の位置付けについて 3. 会長の選出 4. 検討スケジュールについて 5. 再整備基本計画(事務局案)について 6. その他(次回懇談会の日程等)	
資料	資料1 町田市芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会設置要綱 資料2 町田市審議会等の会議の公開に関する条例 資料3 町田市第芹ヶ谷公園再整備基本計画懇談会委員名簿 資料4 芹ヶ谷公園再整備基本計画の検討状況及び今後の進め方 資料5 芹ヶ谷公園再整備基本計画(事務局案)	

1. 検討スケジュールについて

(1) 市民意見について

- ・市民意見は、1回でどの程度意見を吸上げられるか疑問(委員)
- ・市は、意見を出しても意見を吸上げない。(委員)
- ・市民意見公募の前に、懇談会での内容を事前に発信する他、地元にはどのような意見があるか個別に話すことも必要(会長)
- 市民意見公募は、2週間程度の期間で1回行う予定(事務局)
- ・子育て世代へのヒアリングを行いたい。(事務局)
- ・懇談会の委員は、地元町内会等で意見を吸い上げていただきたい。(事務局)

(2) 関連計画等について

・芹ヶ谷公園は、モノレール、都市計画道路、町田荘跡地、高ヶ坂住宅跡地の計画があり、整備が決まっているもの、未定のものなど複数の要素がある。

懇談会で議論する内容として、具体的な施設については、この懇談会で話すのか、それとも設計など次の段階で話し合うのか？（会長）

→・具体的な施設は、この計画で意見をいただきたい。（事務局）

・子どもセンターと芹ヶ谷公園の接続について市は知っているのか？（委員）

→・トンネルではなく、跨線橋という考えはある。具体的にどうつなげるか、整備時期などは考えていない。中心市街地のひろがりという面から、そういうつながりができればいいと市は考えている。（事務局）

(3) (仮称)工芸美術館について

・芸術の杜”という言葉があるのに、工芸美術館の計画が示されていないので、議論するのは難しい気がする。（委員）

・版画美術館は長年公園の核施設として運営されてきた経緯があるので、担当部署に話を聞きたい。（会長）

→・国際版画美術館は、築28年になり、様々な文化活動を展開してきた。工芸美術館ができることで相乗効果が期待できる。（事務局）

その他には、夏は、虹と水の広場が親子連れで賑わっているので維持したい。

一方、周囲は、樹木でうっそうとし、足下の暗さに不安がある。（事務局）

・国際工芸美術館の建設については、博物館が老朽化したこと、アクセスが悪いこと、またガラス工芸に良いものがあり、多くの人に見てもらいたい。（事務局）

芹ヶ谷公園に工芸部門を移すことで版画美術館との相乗効果を期待できることなどから決まった。（事務局）

(4) 公園の利用実態について

・今の公園を愛している人、よく使っている人はどういった公園の利用をしているのか（会長）

・多目的利用の利用頻度が最も高い。夏は水と虹の広場も良く使われている。
（委員）

2. 再整備計画について

(1) テーマに対する考え方について

- ・目的にある3本の柱がある。「芸術の杜にふさわしい空間の演出」の言葉には誰も異議がないと思うが、その中身をどう考えるか、公園に求められるものは何かということが問題だ。
- ・また「一体的活用」とあるが、公園と2つの跡地の一体的活用と美術館と公園の一体的活用について議論したい。(会長)

(2) イメージ・ブランディングについて

- ・近年、公園経営という言葉聞く。例えば、イオンモールでは、「滞留時間」(人が何時間いれば、いくら位金額を使うか)を気にしていて、それを公園に採り入れる話がある。
- ・これらを基に「芸術の杜」芹ヶ谷公園とその地域のブランディング(魅力)について議論していきたい。
- ・芸術の杜について、市民に意識はあるのか、また、意識してもらうためにどうすれば良いか議論したい。(委員)
- ・大自然がある中で芹ヶ谷公園の中には花が少なく、少し暗いイメージがある。四季の花などを植えることで芸術の杜のイメージを高める。(委員)
- ・特徴ある公園を造っていくことが重要。芸術の杜というが、版画、工芸などいろいろな芸術を揃えても、(公園が)芸術の杜とはならないのではないか。そのあたりは、事前に市民の意見を聞き、地域に受け入れられることが重要。
(委員)
- ・版画美術館はすばらしいが、なかなか行かない。市立博物館も同じ。建物だけ造ってもだめで、公園として芸術というイメージをつくっていくことも大切。
(委員)
- ・スターバックスが出店したくなるような公園にしたい。(委員)
- ・ブランディングということでは、井の頭公園や立川の昭和記念公園のような公園を目指したい。(委員)

(3) 芸術の杜について

- ・「芸術の杜」について委員間でイメージが共有できていない。(会長)
- ・芸術をテーマにしたまちおこしは、だいたい失敗しているが、世界から来るような場所にする事は可能。
そのためには、常識にとらわれない美術の広がりを考える必要がある。
- ・箱物だけで集客が見込める時代ではない。

・町田市では、国際版画美術館が既に文化芸術を発信しているはずなのに、文化芸術を発信する場としていくのは何故か。それは、発信の仕方の問題があるのか。また発信の方法は、何故、工芸美術館なのか。両美術館があれば美術の発信の場に行けるのか、美術に対する思いが欠けていると感じる。

・今後は、美術館の運営の仕方が公園と大きく関わってくる。運営に携わっている人がこの検討メンバーに加わってくる必要がある。

・札幌のモエシ沼公園は、イサム ノグチが公園全体を作品とした。ここでは、50mの山を作れば地図に載るということで、ゴミで山を作った。この発想が素晴らしい。

また、札幌の芸術の森は、札幌交響楽団の練習場や美術館、野外彫刻と、複合的に芸術を感じられるように工夫されている。このくらいやって、始めて芸術の杜と言える。(委員)

・京都国立博物館では、スターウォーズ展をやった。この時は、非難も多かったが、結果的には来場者が増え、通常の展覧会でもお客様の層に変化があった。

町田市でもこのような挑戦ができると思う。(委員)

(4) 市民が満足できる公園について

・今の利用者のほか将来利用予定者を今から巻き込む方法が大事。整備後、公園を守るのは市民と思う。公共施設を好きになる情報発信、場合によっては社会実験を実施しながら市民の満足度を高める必要がある。例えば、市民意見を取り入れるコーナーを作り表に出す。計画が成長するように意見を出てしてもらえればいい公園になる。(会長、委員)

(5) 施設・植栽への要望について

・平日の公園利用者は実際には高齢者が多い。高齢者が使える健康遊具などがあれば良い。若い人はスケボーのやる場がないという声は出ている。(委員)

・多目的広場ではテニス、正月にはたこ揚げなどで使われている。インターネットで調べて来たという人もいる。(委員)

・散歩も工夫次第で楽しめる。例えば、園路にスタート地点から消費カロリーを距離ごとに表示すれば楽しく散歩できる。(委員)

・桜を植えてほしいという要望はある。(委員)

・公園に近い人は良いが、少し遠いと自家用車でないと来られない。小型バスなどの活用を考えるべきだと思う。(委員)

・谷底にあるのでアクセスが大変。建物へのアクセスは、エレベーターもあるがエスカレーターの方がいいと思う。(委員)

3. 次回の資料について

(1) 芹ヶ谷公園の当初の計画

- ・谷戸地形という自然の特徴や植樹、広場を作った当初計画の公園の理念や環境は再整備の中でも生かすべきと考えているので、そのあたりの資料を用意して欲しい。懇談会委員間で共有したい。(会長)

(2) 工芸美術館の基本計画や今後の計画

- ・今回の資料では記載がないので、芸術の杜についてこの場で話すのは難しい。
(委員)